



麦粒腫（左）と霰粒腫の症例

ものもらい症状2種類

「麦粒腫」＝細菌原因、まぶたにうみ

「霰粒腫」＝脂がたまり、長引く傾向

ものもらいは、炎症など
まぶたが腫れ上がる病
気。まぶたにうみがたまる

「麦粒腫」と、脂がたまる
「霰粒腫」の2種類がある。

見た目は似ているが治療法
は全く異なるため、きちんと
診断を受けた上で、適切
に対処することが重要だ。

伊藤医院（さいたま市）の
有田玲子医師に、治療法や
生活上の注意点について聞
いた。

麦粒腫は細菌の感染が原
因。まぶたが化膿して赤く
腫れ、痛みが生じる。「感
染が原因」といつても人にう
つることはなく、適切に対
処すれば長引くことはあり
ません」と有田医師。抗生

物質の点眼や眼軟こうの塗
布によって炎症を抑える治
療がメインで、通常は1週
間から10日程度で軽快して
いく。眼帯は、菌の繁殖を
促すので使用しない。

再発を繰り返す場合は、
免疫力が低下している恐
がある。「よくあるのが、

花粉症とのものもらいも、
するケース。アレルギーに
よる免疫力低下が原因で
花粉症とものもらいを併発
する。アレルギーによる免疫
力低下が原因で、涙の蒸発を防ぐ作用が

す」と有田医師。「そもそも
も麦粒腫は、体のあちこち
に存在しているブドウ球菌
が主な原因。体が弱ってい
るときには、普段は人の健康を脅
かすことのない細菌にまで
感染してしまうのです。大
切なのは、まぶたを清潔に
保ち、疲労やストレスをた
めないこと」

一方、脂を分泌するマイ
ボーム腺が詰まる霰粒腫は
治療が長引く傾向があり、
治るまでに数カ月を要する
ことが多い。基本的に痛み
はないが、冷えによる血行
不良や食事で油を大量に摂
取した影響などで細菌感染
を合併した「化膿性霰粒腫」
になると、痛みが生じる。

日薬では治せず、手術と
いう選択肢もあるが、最近
ではまぶたを温めて詰まつ
た脂を溶かす「温あん法」
が主流。問題は、霰粒腫が
ドライアイのリスクを高め
てしまうこと。「マイボーム
腺から分泌される脂に
は、涙の蒸発を防ぐ作用が

あります。ところが、霰粒
腫を繰り返すとマイボーム
腺の機能が低下し、潤いに
必要な脂が不足してしま
うのです」

いずれのものもらいも、
予防にはまぶたを洗うこと
と、温あん法が有効だ。有田
医師は「特に雑菌の多いま
ぶたの際を、朝晩しつかり
腫を繰り返すとマイボーム
腺の機能が低下し、潤いに
必要な脂が不足してしま
うのでお勧めできません。
温あん法は血流を促してく
れます。しかし、炎症を起して
いるときは控えましょう」

温あん法は血流を促してく
れます。しかし、炎症を起して
いるときは控えましょう」とアドバイスしている。

本当の病気の原因を探る疫学研究

東北大東北メディカル・メガバンク機構 助

「Aを食べる人がんになりにくくなる」「Bのようない生活習慣の人には心疾患になりやすい」。こんな報告を頻繁に目にします。これらは「疫学研究」と呼ばれる研究の成果であり、研究協力者の方からのアンケート回答や臨床検査の数値などから得られるものです。しかし、ある時点の調査でAを食べている人にがんがないからと言つて、それがただにAはがんを防ぐことを意味するとは限りません。

リレー エッセイ
医進伝心

長期間追跡し見極める

ふたの際を、朝晩しつかり
腫を繰り返すとマイボーム
腺の機能が低下し、潤いに
必要な脂が不足してしま
うのでお勧めできません。
温あん法は血流を促してく
れます。しかし、炎症を起して
いるときは控えましょう」とアドバイスしている。

日薬では治せず、手術と
いう選択肢もあるが、最近
ではまぶたを温めて詰まつ
た脂を溶かす「温あん法」
が主流。問題は、霰粒腫が
ドライアイのリスクを高め
てしまうこと。「マイボーム
腺から分泌される脂に
は、涙の蒸発を防ぐ作用が

あります。ところが、霰粒
腫を繰り返すとマイボーム
腺の機能が低下し、潤いに
必要な脂が不足してしま
うのです」

いずれのものもらいも、
予防にはまぶたを洗うこと
と、温あん法が有効だ。有田
医師は「特に雑菌の多いま
ぶたの際を、朝晩しつかり
腫を繰り返すとマイボーム
腺の機能が低下し、潤いに
必要な脂が不足してしま
うのでお勧めできません。
温あん法は血流を促してく
れます。しかし、炎症を起して
いるときは控えましょう」とアドバイスしている。